

キボシマルウンカを南但馬で採集

植田 義輔

キボシマルウンカ *Ishiharanus iguchii* (Matsumura) は、兵庫県南部においては採集例があり (植田, 2009), インターネット上でも, 南部で撮影された生態写真が掲載されたサイトが存在する (※). しかし, 兵庫県北部での採集例や観察例は少ないのではないかとと思われるので, 採集記録を報告する.



1ex. (写真), 兵庫県朝来市立脇 (35° 15' N, 134° 48' E, Alt. 170m), 29. X. 2011, 筆者採集, 筆者保管.

林縁部の比較的近くに位置する民家の, 庭に植栽されたムラサキシキブの葉上に静止しているところを採集した.

○参考文献

植田義輔, 2009. 神戸市北区 (藍那) でキボシマルウンカを採集. きべりはむし, 32(1): 60.

※明石・神戸の虫 ときどきプランクトン.

<http://mushi-akashi.cocolog-nifty.com/blog/2011/10/post-6d9c.html>(2011年11月24日閲覧)

※ハンマーの虫のページ 2.

<http://hanmmer.cocolog-nifty.com/blog/2009/08/post-670a.html>

<http://hanmmer.cocolog-nifty.com/blog/2010/09/post-6d9c.html>

<http://hanmmer.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/post-6d9c.html>

<http://hanmmer.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/post-670a.html>(いずれも2011年12月11日閲覧)

(Yoshisuke UEDA 大阪府枚方市)

兵庫県佐用郡佐用町船越でマルガタヒラタカメムシを採集

池田 大

マルガタヒラタカメムシ *Aradus bilobatus* Heiss and Shono, 2005 は 2005 年に新種として命名・記載された種で, 記載後あまり記録が多くなく標本数も少ない. 現在, 記録されているのは青森県, 岩手県, 栃木県, 京都府, 兵庫県 (氷ノ山), 広島県, 愛媛県のみである. また, 生態情報も「ブナ (*Fagus crenata*) やミズナラ (*Quercus crispula*) の倒木より得られる」のみであり詳しくは分かっていない.

筆者は兵庫県佐用郡佐用町船越の瑠璃寺奥の院および佐用町昆虫館で毎月行っている灯火採集の調査に行った際, 本種を複数採集および目撃しているため報告する.



1♂ (写真左), 佐用郡佐用町船越, 15. V. 2011, 筆者採集.

1ex., 佐用郡佐用町船越, 17. VI. 2011, 伴光哲採集.

1♀ (写真右), 佐用郡佐用町船越, 18. VI. 2011, 筆者採集.

1ex., 佐用郡佐用町船越, 9. VII. 2011, 筆者目撃.

まず初めは, 5月の調査で瑠璃寺奥の院のそばにある倒木 (樹種は特定できず) の上を本種が歩いているのを筆者が見つけ採集した. そして次の6月の調査では, 伴光哲氏が昆虫館の駐車場にあるケヤキの立ち枯れにあった, イボヒラタカメムシの集団の中に紛れて止まっている本種を見つけ採集した. 筆者もその翌日に同所で採集した. 奥の院での追加も試みたが, 残念ながら見つけることはできなかった. また, 7月の調査でも6月と同じところにいたが, 筆者がその場を離れていた間になくなってしまった.

末筆ながら, 本種の同定および記録をご教示いただき発表を勧めていただいた長島聖大氏および本報告に採集データを使うことを快諾してくれた伴光哲氏に厚くお礼申し上げます.

(Hiroshi IKEDA 兵庫県立伊川谷北高校2年)